

日本語 能力测试 预测试题全解 (1级)

编著 林泽清 吕寅秋 郭思嘉

上海交通大学出版社



图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试预测试题全解. 1级/林泽清, 吕寅秋.
郭思嘉编著. —2版. —上海: 上海交通大学出版社, 2007
(日语能力测试辅导丛书)
ISBN 978-7-313-04297-2

I. 日... II. ①林... ②吕... ③郭... III. ①日文-水
平考试-解题 ②日语-词汇-水平考试-解题 IV. H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2005)第 130577 号

日语能力测试预测试题全解

(1级)

林泽清 吕寅秋 郭思嘉 编著

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路877号 邮政编码 200030)

电话: 64071208 出版人: 韩建民

上海市崇明裕安印刷厂印刷 全国新华书店经销

开本: 787mm×1092mm 1/16 印张: 15 字数: 366千字

2005年1月第1版 2007年8月第2版 2007年8月第2次印刷

印数: 5 050

ISBN978-7-313-04297-2/H·834

ISBN978-7-88844-327-3

定价: (含MP3) 26.00元

版权所有 侵权必究

前 言

由日本国际交流基金和日本国际教育协会共同组织的日本语能力测试自1993年在我国实施以来,一直是全国日语学习者最推崇的权威性日语考试。进入21世纪以来,全国参加该测试的热度持续升温,以至于出现网上报不上名的现象。随着在华日资企业数量大幅度增加,以及迎接2010年上海世博会的需要,作为第二外语学习的广大的大学生和社会人士成为参加能力测试的主力军。他们迫切地需要更贴进测试内容、更适合自学和提高了的应试辅导教材。为此,我们编写了这套《日本语能力测试预测试题全解》丛书。

本丛书是编者在广泛查阅研究了近几年测试考题的基础上,严格按照该测试的结构体系和规格,有针对性和预测性地编写的模拟题集。本丛书共分三册,其中4~3级一册,2级一册,1级一册,有以下特点:

1. 资料新、内容全

本书编写者在详尽分析研究近几年测试考题的出题倾向和变化的基础上,参考了其他相关资料,有针对性地编写了本丛书。各套考题的整体内容和难度既符合该测试的要求,又体现测试的最新发展变化的方向,有利于读者了解和熟悉测试的形式和难度。

2. 题量大,有利于深入练习

本丛书针对多数考生基础不够扎实,练习量小,阅读理解力较差的现实,为各级的考生分别各提供五套完整的模拟题。读者可针对自己的薄弱环节,通过大量的做题实践进行系统的学习,找出自己的不足之处,并自我检验学习的效果。

3. 对考题进行解析,有助于自我提高

考虑到多数考生自学备考的实际情况,本丛书的考题附有详尽的解析。在解析时力求突出难点,举一反三,以期使读者在做题的过程中拓宽相关知识,加深理解,提高准确性。

我们希望广大读者充分利用这套丛书,通过做题提高日语应试能力,在考试中取得理想的成绩。

编 者

2007年7月

目 录

第一回	1
第二回	22
第三回	44
第四回	67
第五回	90
正解和配点	113
第一回	113
第二回	114
第三回	116
第四回	118
第五回	119
解题要点和听解材料	122
第一回	122
第二回	144
第三回	167
第四回	189
第五回	211

第一回

文字・語彙

問題Ⅰ 次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 ビルが崩壊した直後の現場で、救助員はほこりにまみれながら救助活動を急いでいる。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| (1) 崩壊 | 1 ほかい | 2 ほうかい | 3 ぼうかい | 4 ほうか |
| (2) 直後 | 1 ちよくご | 2 ちくご | 3 ちよくごう | 4 じくごう |
| (3) 現場 | 1 けんじょう | 2 けんきょう | 3 げんば | 4 けんば |
| (4) 救助 | 1 すくいだす | 2 きゅじょ | 3 きゅうしょ | 4 きゅうじょ |
| (5) 急いで | 1 きゅういで | 2 いぞいで | 3 いそいで | 4 あせいで |

問2 判断の根拠を明確にしなければ、素直に認めるわけには行かない。

- | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|---------|
| (1) 根拠 | 1 こんしょ | 2 こんこ | 3 こんきょ | 4 ねっしょう |
| (2) 明確 | 1 みんかく | 2 みょうかく | 3 めっかく | 4 めいかく |
| (3) 素直 | 1 すなお | 2 すぐ | 3 すっちょく | 4 そっちょく |
| (4) 認める | 1 もとめる | 2 みとめる | 3 あつめる | 4 とめる |

問3 金融危機をチャンスと捉え、思い切って構造改革を断行する。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) 金融 | 1 きんゆう | 2 きんゆ | 3 きんよう | 4 きんかく |
| (2) 捉え | 1 かかえ | 2 ひかえ | 3 おさえ | 4 とらえ |
| (3) 構造 | 1 こんそう | 2 こんぞう | 3 こうぞう | 4 こうそう |
| (4) 断行 | 1 たんこう | 2 たんこ | 3 たんごう | 4 だんこう |

問4 30年ぶりに馴染み深い土地に足を踏み入れた。

- | | | | | |
|----------|---------|--------|---------|--------|
| (1) 馴染 | 1 くんそみ | 2 なぞみ | 3 なじみ | 4 なれそ |
| (2) 踏み入れ | 1 たみはいれ | 2 たみいれ | 3 ふみはいれ | 4 ふみいれ |

問題Ⅱ 次の文の下線をつけたことばは、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書くことばを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(例) この仕事について一切の責任を持つ。

- 1 一斉 2 一層 3 一節 4 一歳

例の文の下線のことばは、ひらがなで「いっさい」と書きます。1～4のことばはそれぞれ1は「いっせい」、2は「いっそう」、3は「いっせつ」、4は「いっさい」と書きます。例の文の「いっさい (一切)」と4の「いっさい (一歳)」はひらがなで同じ書き方ですから、正解は4です。

(解答用紙)

(例)

① ② ③ ●

(1) せっかくの好意が悪意にとられた。

1 寒気 2 抗議 3 行為 4 敬意

(2) 私はもう四分の三世紀も生きた。

1 正規 2 正義 3 整理 4 証拠

(3) 生計を立てるために仕事をする。

1 上計 2 象形 3 整形 4 政見

(4) 列車の進行を妨げる。

1 振興 2 深刻 3 志向 4 心境

(5) 年末に新製品が登場する。

1 登用 2 童謡 3 導入 4 搭乘

問題Ⅲ 次の文の下線をつけたことばは、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 古いプログラムではいと的にそうさをくわえるとちくせきされた情報を見ることができる。

(1) いと 1 井戸 2 意識 3 意図 4 合図

(2) そうさ 1 創作 2 動作 3 造作 4 操作

(3) くわえる 1 加える 2 貯える 3 生える 4 添える

(4) ちくせき 1 畜類 2 蓄積 3 滞積 4 体積

問2 今回の件でこりたらしく、自分をいましめ、くいる様子を見せた。

(1) こりた 1 凝りた 2 徴りた 3 懲りた 4 顧りた

(2) いましめ 1 慰め 2 戒め 3 酷め 4 厳め

(3) くいる 1 悔いる 2 食いる 3 悟いる 4 改いる

問3 たんじゅん さぎょうは楽しいどころか、くつうなだけだ。

(1) たんじゅん 1 単順 2 単準 3 単純 4 淡純

(2) さぎょう 1 査業 2 作業 3 策業 4 茶業

(3) くつう 1 苦痛 2 苦通 3 久痛 4 句通

問4 出資者をつのりながら、研究かいはつを続けるのはよいいではない。

(1) つのり 1 募り 2 祈り 3 名乗り 4 実り

(2) かいはつ 1 開拓 2 開発 3 再発 4 初発

(3) ようい 1 要員 2 用益 3 容易 4 容認

問5 大統領は今後は武力こうしもじさないことをしさする声明を発表した。

(1) こうし 1 公使 2 攻使 3 行使 4 抗使

(2) じさない 1 侍さない 2 止さない 3 持さない 4 辞さない

(3) しさ 1 視指 2 示指 3 示唆 4 指査

問題Ⅳ 次の文の下線をつけたことばの二重線()の部分、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(例) ごういんに頼んで引き受けてもらった。

- 1 ごうかなホテルに泊まる。
- 2 銀行にごうとうが入った。
- 3 水は水素と酸素のかごうぶつだ。
- 4 数字ではたくさんのきごうが使われる。

例の文の下線のことは「強引」と書きます。1～4のことはそれぞれ、1は「豪華」、2は「強盗」、3は「化合物」、4は「記号」と書きます。例の文の「強引」の「ごう」と、2の「強盗」の「ごう」は同じ漢字ですから、正解は2です。

(解答用紙)

(例)	①	●	③	④
-----	---	---	---	---

- (1) お年寄りの意見をそんちようする。
 - 1 さんそんの過疎化が深刻になっている。
 - 2 彼はそんけいに値する人物だ。
 - 3 そんがい賠償を求める。
 - 4 そういう人物は歴史上にそんざいしない。
- (2) そのことはだきようできない。
 - 1 円高のため、会社は大きなだげきを受けた。
 - 2 これはお金のむだ使いだと思う。
 - 3 両国の交渉がだけつした。
 - 4 だこうする流れだ。
- (3) 会員としてとうろくする。
 - 1 日本れっとうは細長い。
 - 2 最近不とうこうの子供が増えた。
 - 3 雑誌に小説をとうこうする。
 - 4 彼は最高点でとうせんした。
- (4) 新しいビルは6月にかんせいする予定です。
 - 1 市民かいかんへ行く。
 - 2 あれは地方の行政きかんだ。
 - 3 しゅうかんしの売れ行きがいいようだ。
 - 4 みかんの原稿が残されている。
- (5) カードでお金を卸すとき、カードのあんしょう番号を押さなければならない。
 - 1 この辺はあんぜん地帯だ。
 - 2 今度の試験問題はあんがい易しかった。
 - 3 家族のあんびを気遣う。
 - 4 それはあんもくの了解だ。

問題V 次の文の _____ の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- (1) _____ ような青い色をした海を思う存分に泳いだ。
 - 1 しみとおった
 - 2 すきとおった
 - 3 ちかづく
 - 4 たてまつる

- (2) 私が_____言った言葉が、あの人の心を傷つけたらしい。
 1 なんだあ 2 なんとなく 3 なにげなく 4 なにかしら
- (3) 初めて_____に立ったので、胸がドキドキしていた。
 1 ステージ 2 ストープ 3 ブランド 4 ファッション
- (4) 今日は_____のハイキング日和だ。
 1 恰好 2 絶好 3 好評 4 好悪
- (5) 授業中、先生は生徒一人一人に目を_____いる。
 1 通して 2 配って 3 留めて 4 奪って
- (6) _____失礼がないように気をつけなさい。
 1 わざわざ 2 どんどん 3 つくづく 4 くれぐれも
- (7) お返事が遅くなって、どうぞ_____お許してください。
 1 あえて 2 あたりまえに 3 あしからず 4 あっさり
- (8) 外の足音に耳を_____聞いている。
 1 いれて 2 かして 3 そろえて 4 すまして
- (9) 田中さんは平山さんの言ったことがずんと胸の中に落ちたように_____。
 1 ほどこした 2 ひかえた 3 こめた 4 こたえた
- (10) 彼は経営の危機に_____会社の建て直しを任された。
 1 おちいった 2 おちついた 3 おとろえた 4 おうじた
- (11) 朝日新聞社によると、独占_____が昨晚行われました。
 1 インタビュー 2 インスタント 3 インフレ 4 ノイローゼ
- (12) 夏休みの海外旅行を通じて、うちの子が前よりずいぶん_____なった。
 1 心強く 2 おとなしく 3 たくましく 4 いかめしく
- (13) この扉はひとりでに閉まるような_____になっている。
 1 きざし 2 めざめ 3 しかけ 4 しきたり
- (14) とたんに心のすみずみまで_____が染み渡った。
 1 しなやかさ 2 おだやかさ 3 きよらかさ 4 さわやかさ
- (15) _____遠くの本屋に行かなくても、その本屋にありますよ。
 1 せっかく 2 あいにく 3 わざと 4 わざわざ

問題VI 次の(1)から(10)の_____のことばの意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(例) もつ.....そんなに忙しくて、よく体がもつね。

- 1 この建物はあと5年はもつだろう。
 2 この店の支払いはわたしがもつ。
 3 自信をもって発言した。
 4 地図をもって山に登る。

はじめに示された文の中の「もつ」は、「健康な状態が保たれる」という意味です。2、3、4の「もつ」は、それぞれ「負担する」、「心にいだく」、「所持する」という意味ですが、1の「もつ」は、「使える状態が保たれる」という意味ですから、正解は1です。

(解答用紙)

(例)

● ② ③ ④

- (1) やく.....焼餅をやく。
- 1 人が成績がよかったからといって、やいてはいけない。
 - 2 落ち葉を掃き集めてやいた。
 - 3 日光は背中をやく。
 - 4 余計な世話をやく。
- (2) むね.....彼への思いをむねに秘めて留学した。
- 1 彼は若いころ、むねをやられて休職した。
 - 2 人前に立つと、むねがドキドキして何も話せなくなる。
 - 3 卒業の日の校長先生の言葉がむねに響いた。
 - 4 癌ではなくて、むねを撫で下ろした。
- (3) よぶ.....あの映画は評判がよく、大層お客をよんでいる。
- 1 こういうことばは疑惑をよんでいる。
 - 2 名前をよばれたので、振り返って見ると友達だった。
 - 3 悪いことをした生徒を教員室によぶ。
 - 4 大学教授を教師としてよぶ。
- (4) さす.....胸をさすようなことばを聞いた。
- 1 時計の針はちょうど 12 時をさしている。
 - 2 花瓶にきれいな花をさす。
 - 3 足は虫にさされて腫れている。
 - 4 後ろ指をさされるようなことはしない。
- (5) あける.....年があけると、すぐ新しい仕事を始める。
- 1 机と机の間をもっとあけると通りやすくなる。
 - 2 日曜日の午後はあけておいた。
 - 3 かつてに人の手紙をあけてはいけない。
 - 4 あけましておめでとうございます。
- (6) むし.....むしの居所が悪い。
- 1 男の子はそんな弱むしではだめだ。
 - 2 あの人は本のむしだ。
 - 3 むしの声の美しい秋となった。
 - 4 腹のむしがおさまらない。
- (7) かく.....この事について新聞にはどうかかいてあるか。
- 1 口で言って人にかかせる。
 - 2 塩は1日もかくことができない。
 - 3 刃をかいた刀をもっている。
 - 4 勤めをかいている。
- (8) あう.....このめがねは私の目にあわなくなった。
- 1 あの人は話があう。
 - 2 学生時代の友人と道で偶然あった。
 - 3 昨夜帰る途中で大雨にあった。

- 4 だれがきても今日はあわない。
- (9) ぬく.....説明をぬきましょう。
- 1 決勝点近くなって、彼にぬかれた。
 - 2 少しでも手をぬいたことはない。
 - 3 月夜に釜をぬかれる。
 - 4 組から選手を2人ぬく。
- (10) たね.....紛争のたねになった国境問題。
- 1 このごろたねのない葡萄がたくさんある。
 - 2 人の失敗をたねに話をつくる。
 - 3 たねのよい馬を飼っている。
 - 4 取引先のたねを握っている。

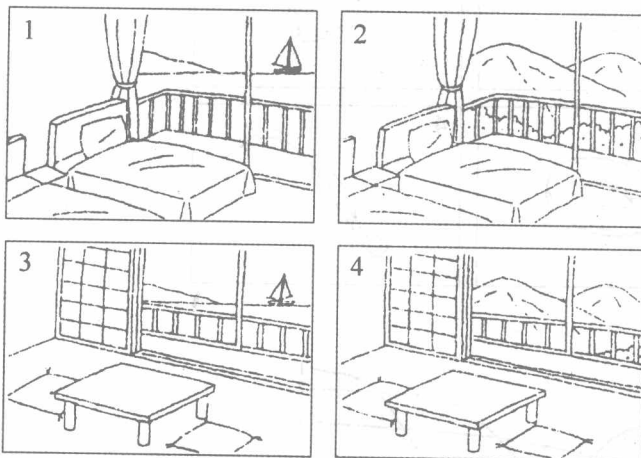
問題 VII 次の(1)から(5)言葉の使い方として最も適当なものを、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

- (1) 一見
- 1 あの人は一見インド人だとわかる。
 - 2 教室に学生がいるかどうか一見してください。
 - 3 あの人は一見おとなしそうだが、実はそうでもない。
 - 4 彼女が家庭主婦でないことは一見だ。
- (2) おろか
- 1 わたしは海外旅行はおろか、国内旅行さえほとんど行ったことがない。
 - 2 基本はおろか応用も大事だ。
 - 3 わからない単語は、辞書を調べるもおろか、質問しなさい。
 - 4 隣のおじいさんは70歳を過ぎているが、一年中水泳はおろか冬はスキーだ。
- (3) あせる
- 1 若い時あせっておくと、年取ってから楽だ。
 - 2 遅刻しそうなので、車をあせらせた。
 - 3 間もなく出発するので、あせってください。
 - 4 出かけなければならないのに、客が帰らないので気があせる。
- (4) よほど
- 1 ロンドンより、東京のクリスマスのほうが、よほどにぎやかだ。
 - 2 朝寝坊して講義によほど遅刻した。
 - 3 電気がなかったころの暮らしはよほど想像できない。
 - 4 この機種のゲーム機はよほどおもしろいからすぐ売切れてしまう。
- (5) なおさら
- 1 どうかなおさらお許してください。
 - 2 秘密だといわれるとなおさら知りたくなる。
 - 3 なおさら、詳しいことは後日お知らせいたします。
 - 4 山田さんはなおさら謝ったが、許してもらえなかった。

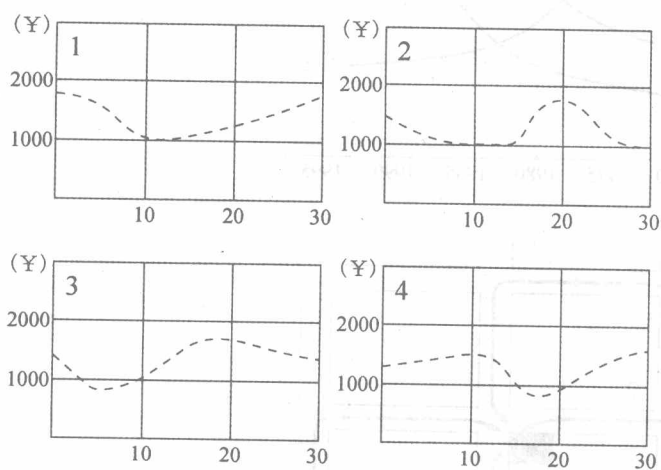
聴 解

問題 I

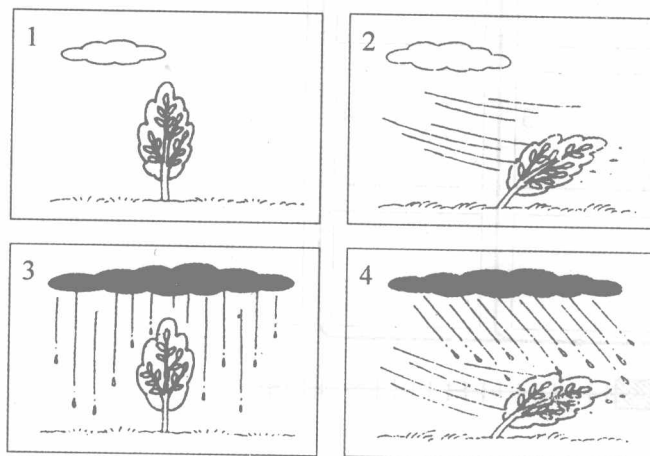
1番



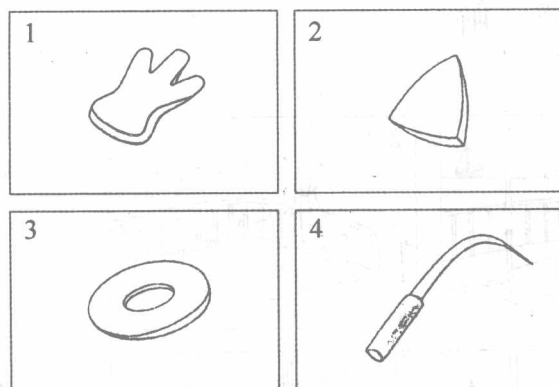
2番



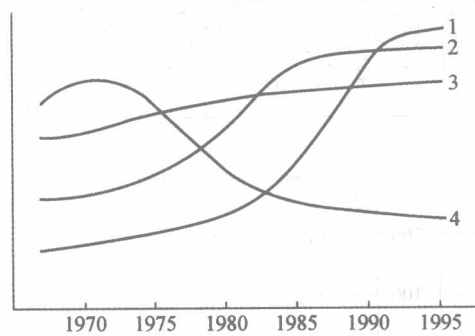
3番



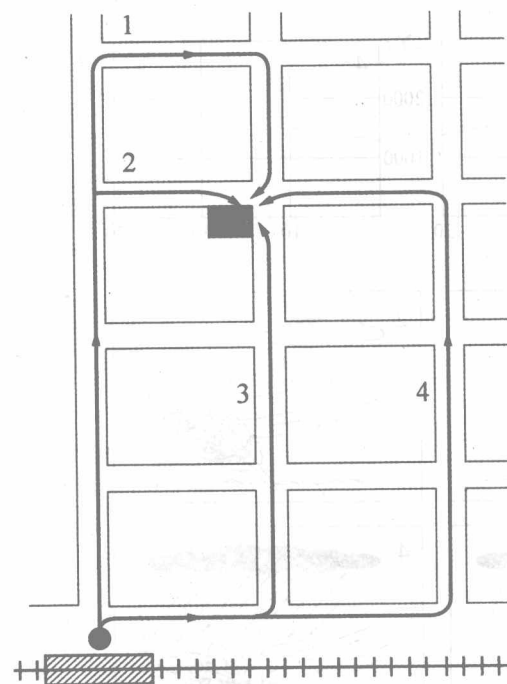
4番



5番



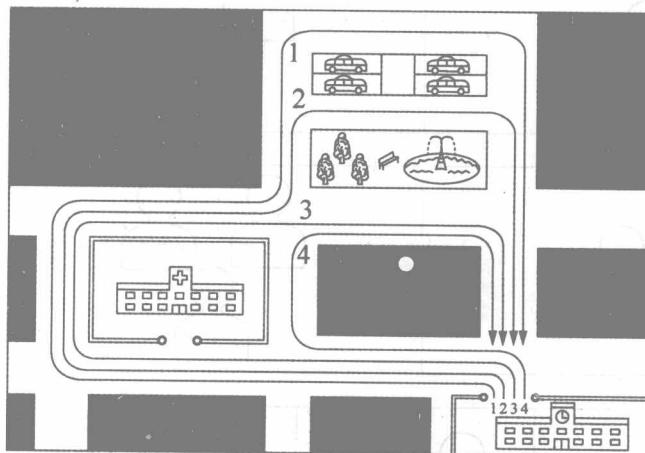
6番



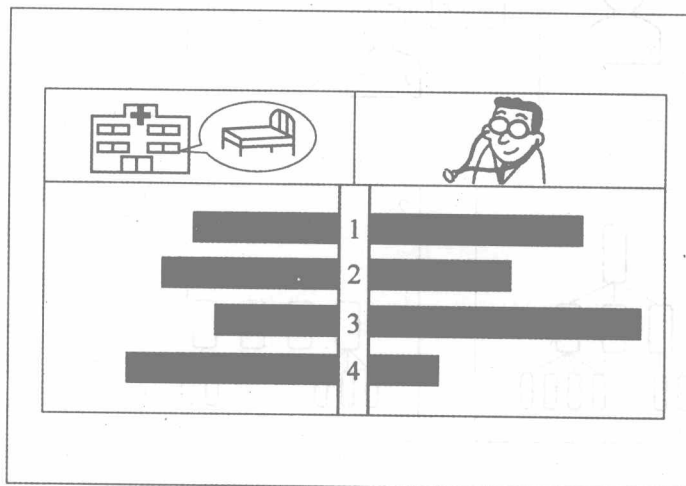
7番

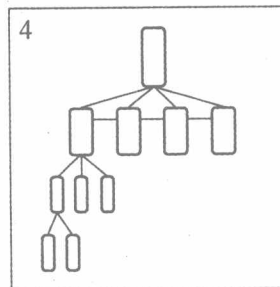
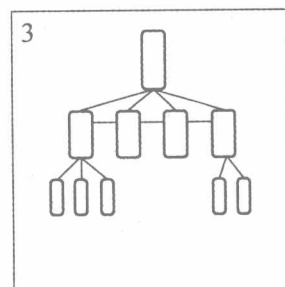
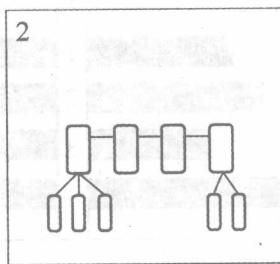
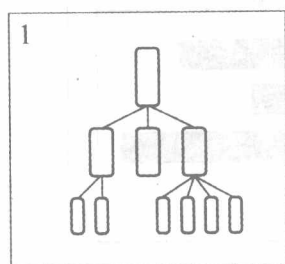
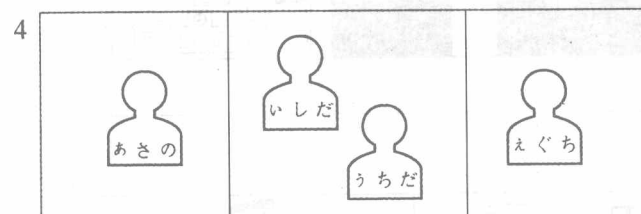
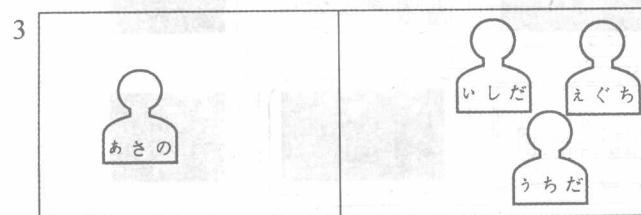
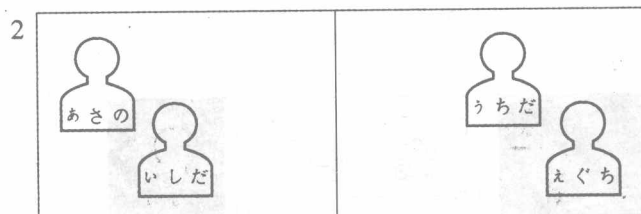
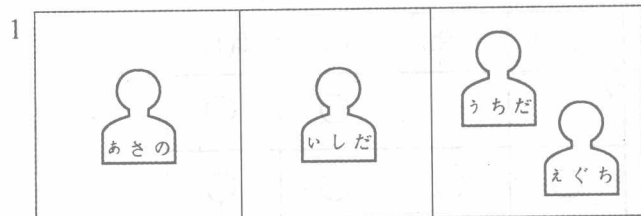
	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)
3:00			○	○
7:00	○	○	○	○
	1	2	3	4

8番



9番

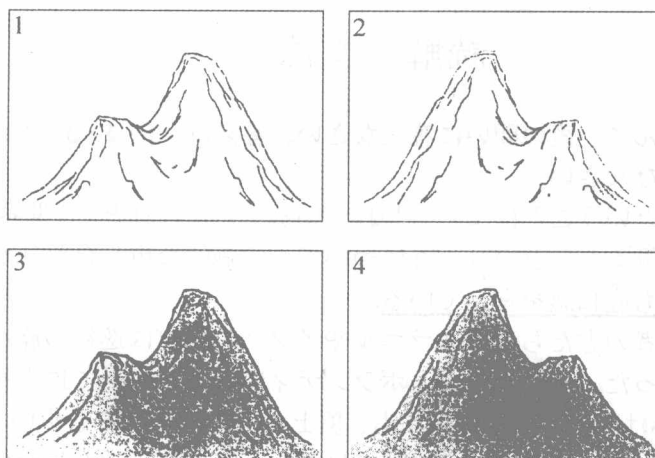




10番

11番

12番



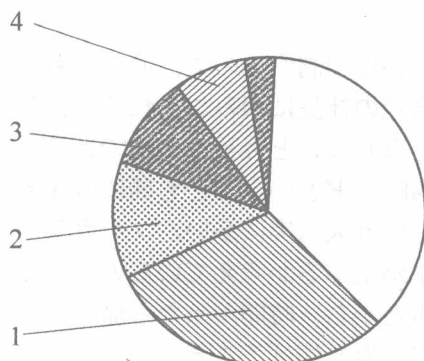
13番

1. 書類選考→筆記試験→面接
2. 書類選考→面接→筆記試験
3. 筆記試験→書類選考→面接
4. 筆記試験→面接→書類選考

14番

1. 安全性とスピード
2. 安全性と安さ
3. スピードと安さ
4. 快適さと安さ

15番



問題 II

読解・文法

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

日本人に個性がないということはよく言われていることだけれど、今世界的に、1週間、或いは年間にどれだけ働くか、ということについて、常識的な申し合わせが行われていることには、私は①いつも違和感を覚えている。

私は毎年、身体障害者の方たちとイスラエルやイタリアなどに巡礼の旅をしているが、一昨年はシナイ山に上った。盲人も6人、ボランティアの助力を得て頂上を究めた。

普段、数10歩しか歩けない車椅子の人にも、頂上への道を少しでも歩いてもらった。障害者にとっての山頂は、決して現実の山の頂ではない。もし普段100歩しか歩けない障害者が、頑張ってその日に限り、山道を200歩歩いて力尽きたら、②そこそがその人にとっての光栄ある山頂なのである。

③人間が週に何時間働くべきか、ということにも、ひとりひとりの適切な時間があると思う。労働時間を一律に決めなければならない、とするのは専門ではない、未熟練労働に対する基準としてのみ有効である。

未熟練労働者の場合は、時間当たりの労働賃金をできるだけ高くし、それによって労働時間を短縮しようとして当然である。

しかし専門職と呼ばれる仕事に従事する人は、労働報酬の時間あたりの金額など、ほとんど問題外だ。

私は小説家だが、小説家の仕事も専門職に属するから、ひとつの作品のためにどれだけ時間をかけようと勝手である。短編をほんの2、3時間で書いてしまうこともあるし、10年、20年と資料を集め調べ続けてやっと完成するものもある。ひとつの作品に私がどれだけの時間や労力や調査費をかけようが、昼夜何時間ずつ働こうが、それは私がプロである以上、自由である。

日本の社会の中には、職場の同僚がお互いに牽制するので、取ってもいいはずの休みも取れない人が確かにかなりいる。小さな会社の社長に頼みこまれると、したくもない残業をしなければならなくなる社員もいる。そうしないと会社が潰れて失職をすることが④且にみえているからである。その結果「過労死」などということも稀には起きることになる。

しかし日本人のなかには、仕事が趣味という人も実に多い。ブルカラーと呼ばれている人たちの中にさえ、どうしたら仕事の能率が上がるか考えている人はよくある。趣味になりかけているものが、たまたま会社の仕事だから、時間が来たら帰らねばならない、というのもおかしいことだ。それは⑤プロの楽しみを妨げることであって、一種の個人の自由の束縛というものである。

ただそれほど働きたくない人は仕事をしない自由を完全に守れるように、社会は体制を作り変えるべきである。しかし同時に、一律に休みを取れ、というような社会主義的発想は、いくら世界の流行だとは言え、自由を手に行っている人間に対しては、個人への干渉であり、非礼である。

問 1 下線①「いつも違和感を覚えている」のはどうしてか。

- 1 日本人に個性がないから
- 2 世界的に労働時間が決められているから
- 3 適切な労働時間は人によって異なるから
- 4 日本人は働きすぎるから

問 2 下線②「そこ」はどこか。

- 1 シナイ山の山頂
- 2 普段どおりに 100 歩歩いたところ
- 3 現実の山の頂
- 4 力尽きたところ

問 3 下線③「人間が週に何時間働くべきか、ということにも、ひとりひとりの適切な時間があると思う」のはどうしてか。

- 1 未熟練労働者は長時間働かなければならないから。
- 2 小説家は専門職だから。
- 3 未熟練労働者か専門職かで労働時間に対する考え方が違うから。
- 4 労働報酬時間当たりの金額を高くしなければならないから。

問 4 下線④「目にみえている」とはどういう意味か。

- 1 遠くまでよく見える
- 2 簡単に分かる
- 3 みんなによく見える
- 4 目で見ることができる

問 5 下線⑤「プロの楽しみ」とは何か。

- 1 小説を専門家として書くこと
- 2 納得した仕事をするために時間をかけること
- 3 社長に頼みこまれて残業すること
- 4 仕事と趣味を両立させること

問 6 筆者の主張に合っているものはどれか。

- 1 労働時間の短縮は世界の流行だから、日本人ももっと休んで過労死を防ぐべきだ。
- 2 仕事が趣味の人でも時間がきたら仕事を止めて帰らなければならない。
- 3 職場の同僚に遠慮せずに休みはできるだけ取るべきだ。
- 4 長時間働くのも、あまり仕事をしないのも、個人の自由だ。

問題Ⅱ 次の (1) から (4) の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとしてもっとも適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)

先日、友人たちと鎌倉へ行った。行く先々で若い女性たちと一緒にいる。昼食の店でも隣席。我々も隣席も芸能情報で盛り上がり、話を聞く側が「ウッソーホント？」と同じように反応。年に関係なく女はミーハーだ。